

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「クレディ・スイスGTAAファンド（愛称：CSアルファ）」は、2016年8月19日に約款の規定に基づき償還いたしました。ここに運用経過と償還内容をご報告申し上げます。

今後とも当社商品につきまして、一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

Aberdeen

クレディ・スイスGTAAファンド （愛称：CSアルファ）

追加型投信／海外／資産複合

交付運用報告書

繰上償還

償還日：2016年8月19日

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。

本書記載事項以外の詳細な内容を記載した運用報告書（全体版）は当社ホームページ（右記アドレス）でご覧いただけます。

書面での交付をご希望の場合には、販売会社を通じて交付いたします。

右記ホームページの左端にある「ファンド情報」のメニューから「運用報告書」を選択することにより、当ファンドの運用報告書（全体版）を閲覧およびダウンロードすることができます。

償還日 (2016年8月19日)	
償還価額	8,485.14円
純資産総額	441百万円
第21期 作成対象期間 (2016年2月23日～2016年8月19日)	
騰落率 (分配金(税引前)再投資後)	△1.7%
分配金(税引前)	0円

(注) 騰落率は収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

アバディーン投信投資顧問株式会社

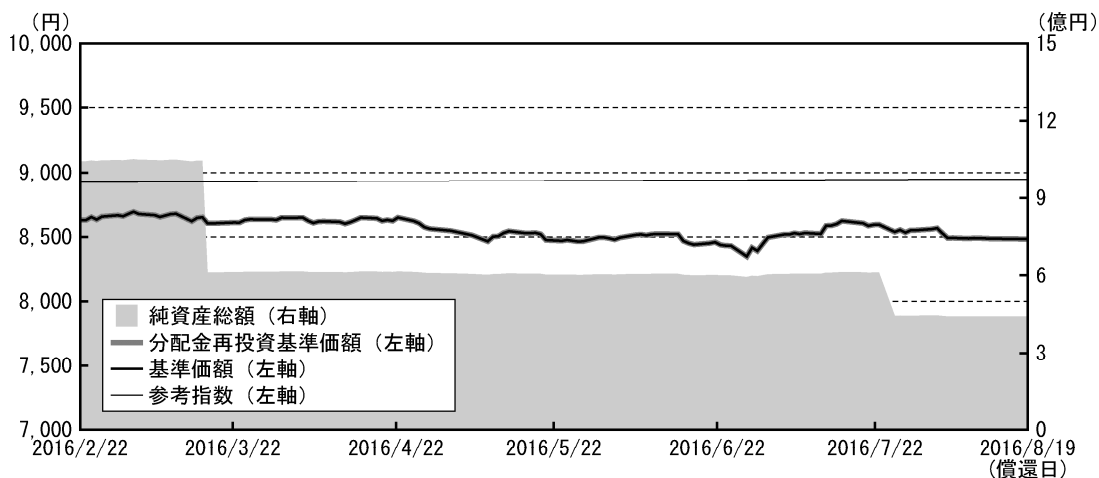
〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-2-3 虎ノ門清和ビル
お問い合わせ窓口 03-4578-2251

(受付時間は営業日の午前9時から午後5時までです。)
インターネット・ホームページ <http://www.aberdeen-asset.co.jp>

●運用経過

当期中の基準価額等の推移について

ファンド	当ファンドは繰上償還を迎え、基準価額は前期末の8,630円から第21期における償還時には8,485.14円、値下がり額は144.86円、当期の騰落率は1.7%の下落となりました。
参考指数	適した指標が存在しないためベンチマークは設けておらず、参考指数としている1ヶ月円LIBORとも主要運用対象が異なるため、参考指数との比較はありません。



- (注1) ベンチマーク（ファンドの運用を行うにあたって運用成果の評価基準又は目標基準とする指標）は設けていませんが、参考指数として、『1ヶ月円LIBOR』を記載しています。上記の参考指数は基準日前営業日の終値を採用し、期首の値をファンドの基準価額と同一になるように指数化しています。
- (注2) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注3) 分配金を再投資するかどうかについてはファンドおよび販売会社の取り決め、もしくはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なるので、上記の推移がお客様の損益の状況を示すものではありません。

第21期首	8,630円
償還日	8,485.14円（既払分配金(税引前)0円）
騰落率	△1.7%（分配金(税引前)再投資ベース）

基準価額の主な変動要因

上昇要因	当期においては、CSG TAAファンドにおける債券のロング・ポジションが世界的な利回りの低下に伴い、基準価額の上昇要因になりました。償還に向け8月上旬以降は組入資産の売却を行い、現金等での安定運用を行いました。
下落要因	当期は引き続きロングとしていた株式のポジションと、やや米ドルに対してショートしてきた為替のポジションからマイナス寄与となりました。また、大きく円高が進んだことから債券等のネット・ロングにおいて外貨建ての資産が減少しました。

1口当たりの費用明細

項目	第21期 (2016年2月23日～ 2016年8月19日)		項目の概要
	金額(円)	比率(%)	
平均基準価額	8,563	—	期中の平均基準価額です。
信託報酬	32	0.373	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（委託会社）	(12)	(0.140)	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	(18)	(0.210)	情報提供、各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
（受託会社）	(2)	(0.023)	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価
合計	32	0.373	

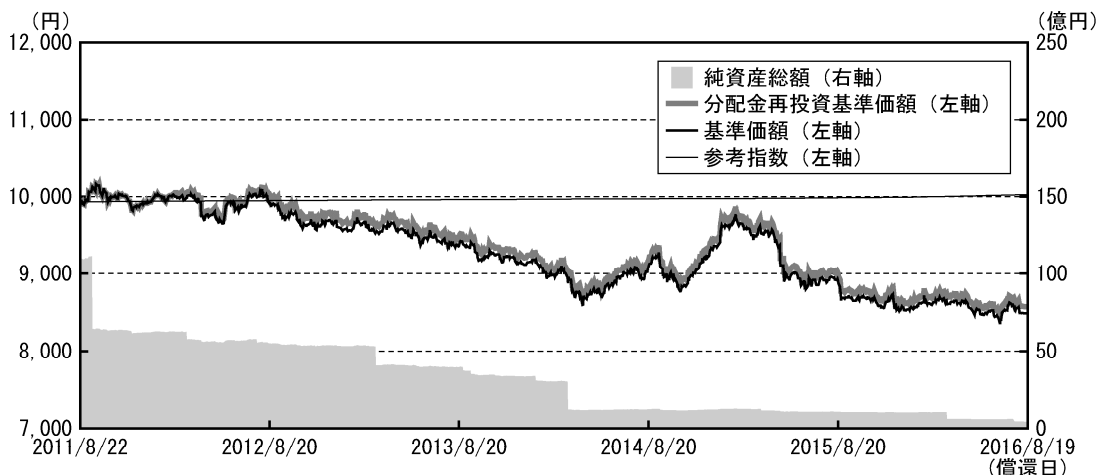
(注1) 費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 「比率」欄は1口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注3) 項目毎に円未満は四捨五入し、単位未満は0円と表示しています。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託受益証券等が支払った費用を含みません。

最近5年間の基準価額等の推移について



- (注1) ベンチマーク（ファンドの運用を行うにあたって運用成果の評価基準又は目標基準とする指標）は設けていませんが、参考指数として、『1ヶ月円LIBOR』を記載しています。上記の参考指数は基準日前営業日の終値を採用し、2011年8月22日の値をファンドの基準価額と同一になるように指数化しています。
- (注2) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注3) 分配金を再投資するかどうかについてはファンドおよび販売会社の取り決め、もしくはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なるので、上記の推移がお客様の損益の状況を示すものではありません。

最近5年間の年間騰落率

決算日	2011年8月22日	2012年8月20日	2013年8月20日	2014年8月20日	2015年8月20日	2016年8月19日 (償還日)
分配落ち基準価額（円）	9,936	9,912	9,362	9,080	8,912	8,485.14
期間分配金合計（税引前）（円）	—	100	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率	—	0.8%	△5.5%	△3.0%	△1.9%	△4.8%
参考指数騰落率	—	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.4%
純資産総額（百万円）	10,979	5,501	3,932	1,234	1,078	441

投資環境について

当期2016年2月末から8月における市況は、株式においては2016年初の急落から反発を経て概ね上昇しました。債券も米国での追加利上げの見通しが薄れ、英国でのEU離脱投票結果に伴う利下げ、日本や欧州で追加緩和期待など世界的にも低下傾向でした。為替は英国ポンドが大きく下げた以外は対ドルでの大きな動きはなく、円が1米ドル100円を超えるほど主要通貨に対して全面高となりました。

当ファンドが設定された2006年6月の翌々月には、米国では1%にまで低下した後に政策金利が2004年から2年にわたり引き上げられてきましたが、久しぶりに見送られました。米国の住宅市況は落ち込みが見られたものの、企業業績や株式市況は依然として好調でした。長期金利は高い利回

り水準が続き短期金利が長期金利を上回る逆転現象も見られましたが、2008年9月のリーマン・ショックで世界同時不況へと陥り、政策金利の低下に合わせて急低下しました。為替も米国金利の低下で1米ドル120円台から円高が進行し、米国が巨額な金融緩和を開始した後は100円を切るのが常態化しました。株式市場は世界的な金融緩和を受けて、円高のあおりを受けた日本を除き海外では大幅に反発しました。2012年12月26日に総理大臣に就任（復帰）した安倍首相のアベノミクスの金融緩和により急速な円安と株高が起り、為替も1米ドルが100円の水準に戻り、更に120円台に達しました。ユーロ圏のいわゆるP I I G S諸国における国債の信用不安を端緒とする欧州ソブリン危機（欧州債務危機）、さらにはギリシャ経済危機によりヨーロッパの非ユーロ圏やE C Bにおいてもマイナス金利を導入し、ドイツなどユーロ圏の国債利回りはマイナス圏にまで低下しました。日本もマイナス金利に続きました。

ポートフォリオについて

当ファンドでは、設定時よりC S G T A Aファンドを中心に組入れており、当ファンドの運用成果にはC S G T A Aファンドの運用成果が大きく反映されました。C S G T A Aファンドは独自のクオンツ・モデルに基づき割安な資産をロング、割高な資産をショートし、いくつかの投資テーマおよび各々のファクターで構成されるG T A Aモデルを利用し、投資テーマやファクターのウェイトについては市場環境に応じて随時見直しや調整を行いながら最適化を目指しました。なかでも、G T A Aコア戦略に加えて2011年9月に導入されたレラティブ・トレーディング・アービトラージ（R T A）戦略により投資対象市場が拡大するとともに、ファンダメンタル指標だけでなく市場の値動きを捉えるテクニカル指標に基づいた短期的な売買が可能となりました。最近では各国のマクロ経済の違いが株式・債券・為替相場に反映されにくくなったことなどから、これまで投資テーマのひとつとしていたマクロ・ファンダメンタルのウェイトをゼロとし、実質的には投資テーマから外すなどレラティブ・バリュエーション・プログラム、トレンド・フォロワー・プログラム、クレディ・スイス・リスク選好指数に基づくタクティカル・アセット・アロケーション・モデルを主要な3つの投資テーマとして運用を行いました。

基準価額10,000円で運用を開始した2006年6月末のファンド設定時には、リーマン・ショック前の証券市況の好調さを受けて基準価額は大きく上昇し、第3期には650円、第4期には500円の分配を行いました。その後は基準価額が10,000円を下回る時期が続きましたが、世界的な金融緩和で債券価格が上昇し、債券のネット・ロング・ポジション等による収益から第10期の2011年2月には100円の分配を行いました。2014年以降は再び世界的な利回り低下で、基準価額は9,500円を超える時期もありましたが、2016年からの円高も影響し8,500円近くでの償還となりました。

10年にわたる信託期間中、ご愛顧賜りまして誠にありがとうございました。

参考指数との差異について

適した指標が存在しないためベンチマークは設けておらず、参考指数としている1ヶ月円L I B O Rとも主要運用対象が異なるため、参考指数との比較はありません。

償還金について

償還金は、8,485.14円となりました。

●お知らせ

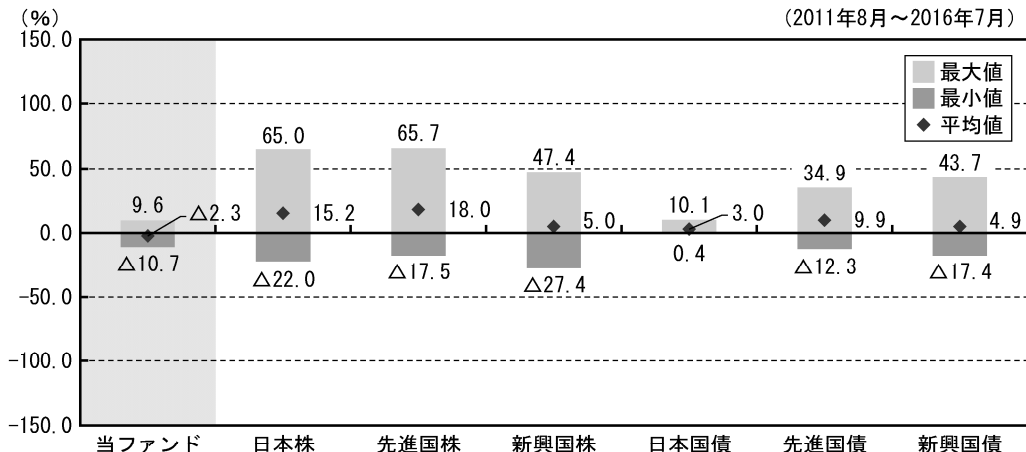
当ファンドは2016年8月19日に繰り上げ償還いたしました。信託期間中、ご愛顧賜りまして誠にありがとうございました。今後とも当社商品につきまして、一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

●当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／資産複合
信託期間	2016年8月19日に繰上償還致しました。
運用方針	複数の投資信託への投資を通じて実質的に世界の株式、債券、通貨に投資を行うことにより、中長期的に信託財産の安定した成長を目的として、積極的な運用を行います。
主要投資対象	組み入れる複数の投資信託により世界の株式、債券、通貨に実質的に投資します。なお、株式、債券、通貨の投資については先物取引等を活用します。
当ファンドの運用方法	①投資信託への投資割合には、制限を設けません。 ②外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	毎決算時（原則として毎年2月20日および8月20日）に、繰越分を含めた利子、配当収入と売買益（評価益を含みます。）等の中から、基準価額の水準等を勘案して分配を行います。

● 参考情報

当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



*2011年8月～2016年7月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大・最小・平均を、当ファンド及び代表的な資産クラスについて表示し、当ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したとみなす分配金再投資基準価額により計算され、実際の基準価額に基づく騰落率とは異なる場合があります。騰落率は直近月末から60ヵ月遡った算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

*各資産クラスの指数

- 日本株・・・東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)
- 先進国株・・・MSCI コクサイ・インデックス (配当込み、円換算ベース)
- 新興国株・・・MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円換算ベース)
- 日本国債・・・シティ日本国債インデックス
- 先進国債・・・シティ世界国債インデックス (除く日本・円ベース)
- 新興国債・・・JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド (円ベース)

注：海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

- 「東証株価指数 (TOPIX)」に関する知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。東京証券取引所はTOPIXの算出もしくは公表方法の変更、「TOPIX」の算出もしくは公表の停止または「TOPIX」の商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。
- 「MSCI コクサイ・インデックス」および「MSCI エマージング・マーケット・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権、その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。またMSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「シティ日本国債インデックス」および「シティ世界国債インデックス (除く日本・円ベース)」は、Citigroup Index LLCの知的財産であり、指数の算出、数値の公表、利用など指数に関するすべての権利は、Citigroup Index LLCが有しています。
- 「JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド (円ベース)」とは、J.P.Morgan Securities Inc. が算出し公表している指数です。当指数の著作権は、J.P.Morgan Securities Inc. に帰属します。

● ファンドのデータ

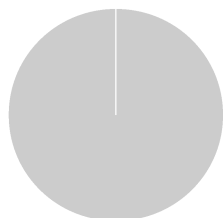
当ファンドの組入資産の内容

組入ファンド

2016年8月19日現在、有価証券等の組入れはございません。

種別配分等

資産別配分



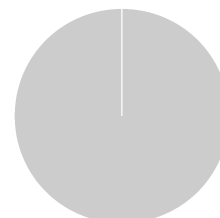
コール・ローン等、その他
100.0%

国別配分



日本
100.0%

通貨別配分



日本円
100.0%

(注1) 組入ファンド、資産別・国別・通貨別配分の各データは当ファンドの直近の決算日である2016年8月19日現在のものです。

(注2) 組入ファンド、資産別・国別・通貨別配分の各比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

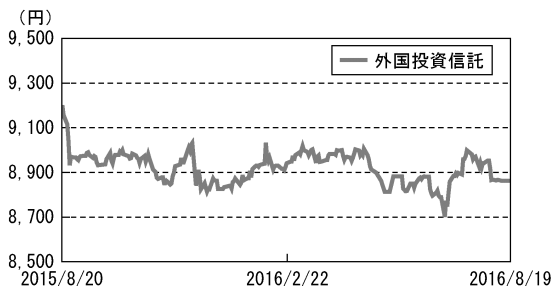
純資産等

項目	償還時 (2016年8月19日)
純資産総額(円)	441,227,409
受益権総口数(口)	52,000
1口当たり償還価額(円)	8,485.14

(注) 当期における追加設定元本額は0円、同解約元本額は690,000,000円です。

組入上位ファンドの概要

◇CS GTAAファンド 基準価額の推移



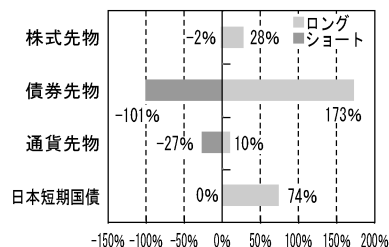
組入上位10銘柄

組入銘柄数：1

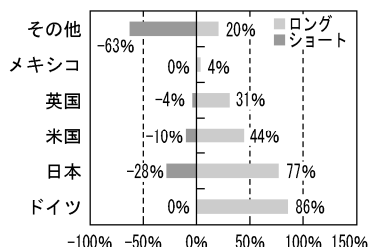
	銘柄名	国名	種別	組入比率
1	JAPAN T-BILL 0 21NOV16 SER571	日本	債券	73.7%
2				
3				
4				
5	※現物資産ポートフォリオは、日本短期国債、現金、証拠金です。			
6	実質的な運用は種別配分等にある各資産の先物を活用します。			
7				
8				
9				
10				

種別配分等

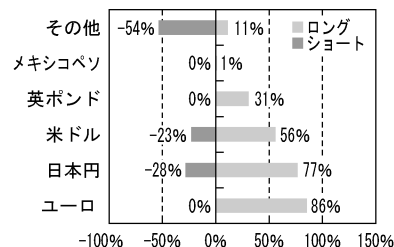
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注1) 組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分の各データは当ファンド決算の直近の月末である2016年7月末のものであります。

(注2) 組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分の各比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注3) 基準価額の推移は当ファンドの直近の計算期間のものであります。

(注4) 種別配分等は、各先物のポジションを含んだ実質的な運用ファンドのポートフォリオ内容となっています。

※組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)をご覧ください。

費用明細

当該外国投資信託において、運用資産総額に対し年率約0.535%が運用報酬および投資顧問報酬としてかかります。加えて、純資産価格がハードルバリューを上回った場合に、その超過額の20%程度に発行済み受益権口数を乗じた金額が、成功報酬として別途かかります。ハードルバリューの詳細につきましては運用報告書(全体版)をご覧ください。

その他費用として保管費用や受託費用等がございますが、当期にかかる費用の明細は外国投資信託のため開示できません。2015年9月期決算におけるその他費用の実績は年率約0.87%となっています。詳細につきましては運用報告書(全体版)で当該期間をご確認ください。